

ほほえみ



みどモス

回覧

No25

発行日：令和5年9月1日

発行者：青少年センター

青少年センターについて

みどり市青少年センターは、次の3つの活動を行っています。

◇青少年の補導に関する活動

市内各学校の教職員や保護者39名、更生保護女性会より推薦された12名、合計51名の方々により、下校時や夕方『補導活動』や『愛の声かけ運動』を実施しています。

『補導活動』は、中学校区単位で5つのブロックに分かれ教職員と保護者が、夕方、青少年が集まりやすいコンビニやゲームセンターなどを中心に巡回指導を行っています。

『愛の声かけ運動』は、更生保護女性会の方々が児童生徒の下校時間帯に合わせ、「交通事故に気を付けて帰るんだよ」などの声かけを行い、交通事故や不審者に対する注意喚起を行っています。



◇相談活動

通称「ヤングテレホン」と言い、対象は、青少年とその保護者です。悩みや相談事があれば、電話・来所・メールで解決に向け、相談を行っています。相談員は、元学校の先生や教育相談の講習を受け、資格をもった方々です。

相談の時間帯は次のとおりです。

○電話相談・・・平日10:30～16:30 土曜日13:00～16:30

0277-76-9910

○来所相談・・・平日 10:30～17:15

○メール相談・・・随時

◇広報活動

広報誌「ほほえみ」を発行して、市民の皆様に補導活動や相談活動の現状を知ってもらったり、青少年に関わる課題に対して啓発活動を行ったりする活動です。

年間、2～3回程度、発行を予定しています。



令和4年度 パトロール実施状況

○総補導回数：96回

○総出動人数：277人

○愛の声かけ人数：808人

(裏面へ続く)

「青少年だより」から抜粋 ～群馬県児童福祉・青少年課～

令和4年度 SNSに起因する児童の犯罪被害状況について 【令和4年中のSNSに起因する事犯の現状（全国）】

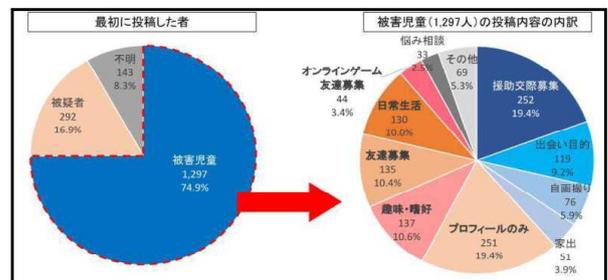
- 全国の「SNS」に起因する犯罪被害児童数（18歳未満）は、**1,732人**（警察庁資料より）
（前年比-80人）ですが、平成28年以降1800人前後が続き**高止まり状態**
- 学校種別では、
・高校生833人（-104人）・中学生718人（±0人）・小学生114人（+31人）
中学生と高校生で全体の約**90%**を占めますが、**小学生の被害増加も顕著**

- 児童ポルノ事犯における被害態様は（製造種別）は？
特定された被害児童総数1487人のうち、児童が自ら撮影した画像に伴う被害が最多577人（平成25年以降連続）、児童買春・淫行行為234人と合わせると半数以上に！その他は盗撮（252人）、強制性交等（143人）



【特徴】

- ① 被害のきっかけとなった最初の投稿の割合は、**児童からの投稿が約75%！！**
- ② 被害児童のアクセス手段は、**スマートフォンが96%**



- ◎ SNSで知り合った相手に送った画像や情報は、どこから拡散するか分かりませんし、相手が本当はどんな人か確認するのは困難です。直接面識のない相手には特に注意をしましょう！
- ◎ 「デジタルタトゥー」の危険性をしっかりと理解しよう！
インターネット上に公開された写真や書き込み、個人情報が**一度拡散してしまうと完全に削除するのが不可能**です。これを「入れ墨を完全に消すことが不可能」であることに例えた比喩表現です。自分が送った情報が知らぬ間に拡散する危険性の認識を理解しましょう！

子どもたちに、インターネットの正しい使い方を教え、有害情報から守るため、家庭や学校での「おぜのかみさま」の実践にご協力ください。

今回は、「お」「ぜ」「の」をピックアップしました。

セーフネット標語「おぜのかみさま」を守るう！



- **お**くらない（写真を）
- **ぜ**ったいあわない
- **の**せない（個人情報を）
- **か**きこまない（悪口などを）
- **み**ない（有害サイトを）
- **さ**がさない（出会いを）
- **ま**もる（家庭でのルール）